

信頼のタスキは

引き継がれる。



発行所
自民党金沢第三支部機関誌
横浜市金沢区谷津町 35
黒川すみお後援会
Tel 045-781-9580 Fax 045-786-4310

ともづな



六期二十年にわたって横浜市議員として地元金沢区の発展のため、そして横浜市の将来のために尽力された黒川すみおさんと、2005年の社団法人横浜青年会議所の理事長（以下横浜JC）として青年経済人の視点で横浜のまちづくり、ひとつづくりに活躍した黒川勝さんが、これからの横浜についておおいに語り合いました。

黒川すみお（以下すみお）「親子であらたまって話をするのは調子が狂いますねえ。昔からJCは、青年らしい若い感覚で横浜スタジアムの建設や赤レンガ倉庫の保存などで世間の注目を集める政策提言をしてきたよっただけで、最近はどうな（こと）力を入れているのですか。」黒川勝（以下まっくん）「横浜JCは様々な業種の青年経済人の団体です。400人の20代・30代の横浜在住または在勤の仲間たちが横浜のまちを明るく元気にしていこうじゃないかと研鑽を重ねています。予算規模でいう最大の事業は毎年6月2日の開港記念日に行う『横浜開港祭』ですが、『横浜経済人会議』を通じての政策提言や、横浜の子供たちを集めて健全なはまっ子を育成する『はまっ子スクール』なども行っています。」



官から民へ中央から地方へ 大改革の今こそ好機到来

選ばれた以上は自分を支持してくれた人に対する責任として市民生活を守り、向上させていかなければなりません。青年会議所のみならずはもう少し自由な発想で夢や希望を語っているのでしょうか、どんな発想から政策提言をしているのですか。」

まっくん「官から民へ、中央から地方へという小泉改革で人々の意識は大きく変わりました。この大転換は私たちが地元に着した若手経済人にとって大きなチャンスです。地域に根ざしてまちづくりやひとつづくりにしてきた私たちからの提言として、昨年は『横浜JC マニフェスト』を作成し、具体的な数値目標や年限を設定した政策提言をしました。」

すみお「たしかに小泉改革や今の中田市政を軌道に乗せるには、ピンチをチャンスに変えるという発想が大切です。中央政府も地方行政も財政は破綻寸前です。必要な支出や市民サービスが税金などの収入だけではまかなえない、しかし安易に増税するわけにもい

ない。そこで借金をする、それが膨らみ続けている。様々な行政サービスが民間の知恵や創意工夫で質を下げずにコストダウン出来るのなら民間に任せるとは大賛成です。小泉首相が改革には痛みを伴うと言ってましたが、横浜市のG30などは、ちょっと面倒だけどコミを分別して出してくれば、コミは資源に変わります。これは大きなコストダウンであり、環境にもやさしい改革ですよ。」

まっくん「ちょっとした痛みで大きな得をしたということですよ。昨年は、横浜市の要請で『事業仕分け』という作業に協力しました。これは、行政の業務で必要なもの、民間に任せられるべきもの、といった仕分け作業を客観的にしてもらい、行政のやるべき市民サービスを見直すという試みです。これを政府や市役所が徹底的にやってくれば、増税の必要もなくなるかもしれません。民間に移管されてビジネスの機会が企業に与えられれば法人税収も増えるわけです。これまで行政が行っていたことが民間化されたときに地元の企業が受け

取らなければならない、しかし安易に増税するわけにもい

3つのCで時代を拓く。



黒川 勝
くろかわ まさる
www.masaru-k.net

今年もやります!
2004年に海の公園で始まったスイム駅伝は、800人を超える参加者のイベントになりました。選手としての参加、会場での応援、ご協賛もよろしくお願いいたします。
第3回 ジャパンスイムEKIDEN
in ヨコハマ 金沢海の公園
2006年8月5日(土)
詳しくは...
www.vialecoral.co.jp
大会実行委員長 黒川 勝

黒川まさる

ってどんなひと？



「豊かな緑と海に包まれたこの金沢の街でいつまでも安心して暮らし続けたい。」
 誰もが望むしあわせな生活を市民のみなさんとともに守り続けることは、政治家にとって大きな仕事です。
 情報が溢れ、複雑になりすぎた現在、目先のことにとわれずに将来のしあわせにつながる選択をしっかりとしていく判断力と実行力が政治には求められています。
 経済人として、市民運動のリーダーとして、40年間の人生で培った多くの経験を活かして、新しい時代の金沢・横浜を市民のみなさんとともに創ってまいります。

ここに求められる、しあわせの選択。

●学歴および職歴

昭和40年11月12日、横浜市金沢区に生まれる
 私立早稲田中学校・早稲田高等学校を経て
 昭和58年4月 私立成城大学 文芸学部 文化史学科入学
 昭和61年 大学在学中に(株)ピアレコーラル取締役就任
 地域に根ざした会員制総合スポーツクラブの開業に携わる。
 平成元年3月 大学卒業とともに同スポーツクラブ取締役営業部長に就任
 平成4年 (株)サンソー入社
 平成8年 (株)横浜黒川スポーツ入社
 平成12年 (有)クロスポート創業
 (有)クロスポート代表取締役・(株)金沢商業開発ピアレコーラル
 スポーツクラブ担当理事としてピアレコーラルスポーツクラブ
 の経営に復帰して現在に至る。
 平成18年 自由民主党横浜市連 青年局 次長



●その他の経歴

- 1990年 社団法人横浜青年会議所 入会
- 1994年 政策学校「一新塾」第一期生として入塾
- 1995年 船旅を通じて国際交流を深めるNGOピースポートとともに地球を一周する
- 1996年 神奈川政治大学校 第一期生として入学
- 1998年 社団法人横浜青年会議所 理事
 神奈川ゆめ大会(全国身体障害者スポーツ大会)の後夜祭を担当
- 2000年 社団法人横浜青年会議所 常任理事
 スポーツを通じたまちづくりを市民に対して提言
- 2001年 NPO法人日本ジュニアスポーツ育成協会の設立に携わる 理事に就任
- 2002年 社団法人横浜青年会議所 副理事長
 社団法人日本青年会議所神奈川ブロック協議会 副会長
 FIFAワールドカップ開催に合わせてファイナルマッチフェスタ横浜を赤レンガ倉庫にて開催
- 2004年 第一回ジャパンスイムEKIDEN in ヨコハマ金沢海の公園 実行委員長
 全国から650人の参加者を集めて開催、翌年は800名が参加。現在に至る。
- 2005年 社団法人横浜青年会議所 理事長
 横浜青年会議所理事長として、30を超える審議会や各種団体の委員・役員を歴任

●過去の公職歴

- 横浜国際港都建設審議会委員 / 横浜教育改革会議委員
- 横浜市広報企画審議会委員 / 2008年サミット誘致推進協議会委員
- 財団法人横浜市青少年育成協会理事
- 財団法人横浜観光コンベンションビューロー評議員会評議員
- 財団法人横浜市スポーツ振興事業団評議員
- 近代日本開国横浜開港150周年記念事業推進協議会副会長
- 横浜ベイスターズ友の会副会長 ほか

●趣味・資格

- 茶道(裏千家・茶名 宗勝)、ヨット(ディンギー)
- 美術鑑賞(博物館学芸員)、ランニング(平成11・12年河口湖マラソン完走)
- サッカー(同好会コロコロクラブ元会長)、スキューバダイビング(PADI)
- 危険物取扱者(丙種) など

●本人のコメント

金沢区に生まれ、横浜で育ち、このまちを愛する気持ちは誰にも負けません。
 40年の人生の中での多くの出会いや、様々な経験を活かして新しいフィールドでの
 まちづくりに挑戦していきます。みなさんと一緒に新しい金沢・横浜を創ってまい
 りましょう！



統一地方選で一次公認

自民党県連(河野太郎
 会長)は十日の総務会で、
 来春の統一地方選で改選を
 迎える県議選と横浜川崎
 両市議選の第一次公認候
 補者九十八人を決定した。
 内訳は県議選(定数〇
 七)が現職三十七、新人六
 元職の四十四人、横浜市
 議選(同九)が現職二六、
 新人五元職の三十三人、
 市議選では現在、最大会
 派の自民党と民主党会派
 の議席数が三議席差と接
 近しており、今後、横浜で
 五人、川崎で二から四人程
 度を追加公認する予定。
 今期限りで現役を退く

の、横浜市議では関貞彦
 (磯子区・鈴木正之南区)
 中村達三(保土ヶ谷区、
 黒川澄夫(金沢区)、酒井
 喜則(港北区)の五氏が勇
 退する。
 【横浜市議選】▽山田
 海鶴見区(現)▽渡邊忠
 則(同)新▽福田進(神奈
 川区)現▽藤代耕(同
 男)同▽新▽藤代耕(同
 男)同▽吉原訓(同)▽
 現▽鈴木太郎(同)▽角田
 宏子(栄区)現▽横山栄
 一(同)現▽川口正寿(瀬
 谷区)現

直季(同)▽堀龍(磯子区
 現)▽関勝則(同)▽磯子
 相川光正(金沢区)現▽
 黒川勝(同)新▽佐藤祐
 文(港北区)現▽畑野鎮
 雄(同)▽加藤龍昭(緑区)現
 現▽齋藤達也(同)▽横山
 正人(青葉区)現▽山下
 正人(同)新▽嶋村勝夫
 都筑区(現)▽久保純
 男(同)▽吉原訓(同)▽
 現▽鈴木太郎(同)▽角田
 宏子(栄区)現▽横山栄
 一(同)現▽川口正寿(瀬
 谷区)現

2006年(平成18年)
 4月11日(火曜日)
 神奈川新聞より
 一部記事抜粋



(社)横浜青年会議所の理事長として400人のメンバーとともに、横浜のまちづくりに力を尽くす。



国際仮装行列にペリー提督役で参加。



金美齢さんからは、日本人は自信をもってアジアのリーダーとなると励まされる。



関東学院大学ラグビー部春口監督とスポーツを通じたまちづくりを語り合う。



中田市長やベイスターズの選手らとインド洋津波義援金募金活動。

チャレンジ 金沢!

新しい仕事に挑戦する。新しい会社を創る。結婚や子育てをする。定年後の生活を充実させたい。地域に根ざした市民活動やスポーツに参加してみたい。勇気を持って新しいことに挑戦する人々を応援する政策をあらゆる場面で提案していきます。

チャンス はまっこ!

開放的で、新しい物好きなのはまっこ気質は「三日住んだらハマッコ」と言われます。横浜市民の誰もが、やりたいことがみつかると、一緒に活動する仲間が集まる、公平・公正な立場でライバルと競い合える、一生懸命頑張ればいつでもチャンスをつかむことが出来る、チャンス溢れる都市横浜を創り、誰もが憧れる都市横浜を創ります。

